

# みさと

議会だより



美郷町議会だより

第16号

平成20年10月

美郷町議会 第3回定例会報告 .....	2
一般質問 4人が登壇 .....	4
梁漁の紹介 .....	8
追跡 どうなったの?あの質問… .....	9
住民の声 .....	10



# 美郷町議会 第3回定例会報告



議長 吉田 義雄

平成20年第3回定例会は9月12日に招集され、会期を8日間の9月19日までと決め条例案4件、一般事件案1件、予算案6件、報告事件案3件が提案され慎重審議しました。  
7日目の18日には一般質問が行われました。今回は質問者が4人と今までで最小の人数でしたが、沢山の傍聴者の中、質問台に立ち町行政に対し論戦が行われました。最終日の19日には全議案とも原案のとおり可決及び承認して閉会しました。

## 提案された議案

### 条例

- 美郷町新エネルギー推進委員会設置に関する条例の制定
- 町が取り組んでいる新エネルギービジョン、バイオマスタウン構想の推進を図るために推進委員会を20人以内の委員で構成する。
- 美郷町監査委員条例の一部改正
- 地方公共団体の財政健全化に関する法律の規定により健全化判断比率を監査委員の意見を付して公表することとなり、このことが追加された。
- 美郷町議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する

### 条例の一部改正

- 地方自治法の改正に伴い議員の報酬が議員報酬という固有名詞に改正された。
- 美郷町乳幼児等医療費助成に関する条例の一部改正
- 鳥根県肝炎治療費助成制度が創設されたことに伴い乳幼児医療費も助成対象となり追加された

### 予算案

- 主な補正内容は4月人事異動に伴う人件費の組替え、繰越金の確定に伴うものが主で各会計の補正額は次のとおり

(単位：千円)

会計名	補正前の額	補正額	補正後の額
一般会計	5,779,000	335,211	6,114,211
簡易水道事業特別会計	168,332	2,727	171,059
下水道事業特別会計	299,044	△ 4,242	294,802
国民健康保険特別会計	680,103	△ 82	680,021
国民健康保険診療所特別会計	137,321	5,614	142,935
老人保健特別会計	149,537	26,557	176,094

## 一般事件案

- 平成19年度美郷町歳入歳出決算の認定
- 監査意見（総評抜粋）

財政健全化法が施行され、新たな指標が整備されるとともに情報開示の徹底が求められ、早期健全化基準が設けられた。当該諸比率は財政健全化の策定を求められる基準値を下回っているとはいえ、依然としてひっ迫した財政状況であることには変わりない。引き続き効率的な行財政運営に取り組んで頂きたい。

## 平成19年度決算状況

(単位：円)

会計名	歳入総額	歳出総額	差引額
一般会計	6,808,500,472	6,691,669,434	116,831,038
住宅新築資金等貸付事業特別会計	23,922,119	23,922,119	0
簡易水道事業特別会計	233,354,911	233,281,924	72,987
下水道事業特別会計	298,727,756	298,656,406	71,350
君谷診療所特別会計	3,759,945	3,759,945	0
国民健康保険特別会計	737,057,740	735,527,648	1,530,092
国民健康保険診療所特別会計	135,847,032	133,050,697	2,796,335
老人保険特別会計	1,233,012,468	1,233,012,468	0

## 報告事件案

◎平成19年度決算に基づく美郷町健全化判断比率等の報告

地方公共団体の財政の健全化に関する法律により美郷町の健全化判断比率の報告がされたが、何れも基準値を下回っており簡易水道事業及び下水道事業特別会計においても資金不足は生じていなかった。

◎美郷町開発公社と(株)グリーンロードだいわの平成19年度決算及び平成20年度事業計画が報告された。

## 農業委員に大畑氏を再選

このほど任期満了となっておりました議会推薦の農業委員会委員に大畑恵一氏(長藤)を推薦しました。

(単位%)

実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債比率	将来負担比率
—	—	21.7	180.4
(15.00)	(20.00)	(25.00)	(350.0)

※ ( ) 内数字は基準値

## 請願・陳情審査報告

◎本定例会に陳情3件が提出され所管の委員会に付託され慎重に審査しました。また継続審議中を含め審査報告がされ何れも満場一致で報告のとおり決しました。

請願及び陳情要旨	審議結果	付託常任委員会
美郷町粕洲地区商店街周辺整備について	採 択	総務常任委員会
定住団地建設に関する要望について	採 択	〃
共同労働の共同組合法の速やかな制定を求める意見書採択について	継続審議	〃
後期高齢者医療制度「中止・撤回」意見書採択について	不採択	教育民生常任委員会
国の社会保障費削減方針撤回意見書採択について	継続審議	〃
原油・飼料価格高騰による農家緊急支援に関する要望について	不採択	産業建設常任委員会

## 意見書

◎最終日19日に総務常任委員会より新たな過疎法の

制定を求める意見書が提出され全会一致で決議し

ました。なお決議した次の意見書は総理大臣をはじめ各関係機関に送付しました。

### 新たな過疎対策法の制定に関する意見書

過疎対策については、昭和45年に「過疎地域対策緊急措置法」制定以来、3次にわたる特別措置法の制定により、総合的な過疎対策事業が実施され、過疎地域における生活環境の整備や産業の振興など一定の成果を上げたところである。

しかしながら、人口減少と高齢化は特に過疎地域において顕著であり、路線バスなど公共交通機関の廃止、医師及び看護師等の不足、耕作放棄地の増加、森林の荒廃など生活・生産基盤の弱体化が進むなかで、多くの集落が消滅の危機に瀕するなど、過疎地域は極めて深刻な状況に直面している。

過疎地域は、我が国の豊かな自然や歴史・文化を有するふるさとの地域であり、また、都市に対して、食糧の供給・水資源の供給、自然環境の保全といやしの場を提供するとともに、森林による地球温暖化の防止に貢献するなどの多面的・公共的機能を担っている。

過疎地域は、国民共通の財産であり、国民の心のより所となる美しい国土と豊かな環境を未来の世代に引き継ぐ努力をしている地域である。

現行の「過疎地域自立促進特別措置法」は平成22年3月をもって失効することとなるが、過疎地域が果たしている多面的・公共的機能を今後も維持していくためには引き続き、過疎地域の振興を図り、そこに暮らす人々の生活を支えていくことが重要である。過疎地域が、そこに住み続ける住民にとって安心・安全に暮らせる地域として健全に維持されることは、同時に、都市をも含めた国民全体の安心・安全な生活に寄与するものであることから、引き続き総合的な過疎対策法を充実強化させることが必要である。

よって、新たな過疎対策法の制定を強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成20年9月19日

鳥根県邑智郡美郷町議会

# 4人登壇



町長  
沖野 健

# 一般質問

## 使用済み携帯電話の リサイクル呼び掛けを 購入業者での処理を呼び掛けたい



原 修 議員

### 問

使用済み携帯電話の回収、リサイクル事業の重要性が指摘されている。携帯電話の内部に含まれているレアメタルと言う希少金属（ニッケルやタングステンなど31種類の金属の総称）は、世界的に供給がひっ迫し異常に価格が急騰している。日本は有数のレアメタル消費国で、国内では殆ど、生産ができず輸入に頼っている。特に携帯電話一台に約0.02グラムの金と、バイブモードにはタングステンが使われている。従って携帯電話1トンには約300〜400グラムの金が含ま

されている（金鉱石1トンには50グラム）。しかし、携帯電話は20%しかリサイクルされていない現状である。貴重な資源を眠らせることがないよう広報活動を行い、携帯電話は捨ててはいけないものとしてゴミ分別案内に掲載するとか、破棄する場合は購入店での処理を促す。等々工夫しながら町民に周知徹底を図ることが求められるが対策はどうか。

沖野町長

### 答

レアメタルなど金属のほとんどを輸入に依存しており、今後安

## 若者定住住宅の取組は 次年度は更に検討したい

### 問

沖野町政の目玉的事业である町営若者定住住宅の建設は、19年度（本郷地域）、20年度（別府地域）と進められ、人口減少対策として一定の効果があったと評価する。

この事業の結果が良ければ将来50戸程度の建設計画もあると耳にした。

住宅建設に関しての次の点について尋ねる。

- ① 応募結果の分析は。
- ② 今後の建設計画は。
- ③ 計画があるならば、建設地域のバランスが問われ

定的な確保が国の大きな課題である。多くの地下資源は、今後数十年で枯渇するのではないかと懸念をされる中、レアメタル等の有効利用、再利用は重要な課題であり、一人ひとりの国民が無関心ではいけない時代にきている。携帯電話は多くの個人情報やデータを蓄積している。笹畑クリーンセンターに

においても携帯電話の収集を行っている。個人情報の漏洩を未然に防ぐため、不燃物扱いとして破碎し埋め立ての処分を行っているが、再び資源として再利用する必要性も強く感じている。従って、提案のとおり個人情報処理可能な購入業者への持ち込みによるリサイクル処理の呼びかけを進めたい。

### 答

沖野町長

やなしおニュータウン若者定住住宅への入居申込は、全国紙で報道をされたこともあり、多数の照会があった。その中で一番心配をされていたのが、働き場のことであった。応募の中で町内での就職は大変難しい状況であ

り、近隣の太田市などで就職を考えて頂く必要があると答えた。そのような中で、県外10人の方を含めて、28人の方が申込書を提出された。

入居者の決定は、面接による審査会を開催し、県外からの3人を含め18人の内から5戸の入居者を決定した。

入居決定したのは、町内にイターンをされていた方が2人、県内の方が2人、県外の方が1人であった。この県外の方は、事情により辞退されたので、予め決定していた補欠の方、町内の方であるが繰り上げ決定した。

と考えている。

② 今後の建設計画については、今回多くの方に応募を頂いたことや、建設の財源の一つと考えている過疎債も21年度が最終年度となる事などを考慮し、次年度の建設については更に検討を行いたい。

③ 建設場所についての考  
え方であるが、現在、町内3地域から住宅の建設についての要望が出ている。次年度において若者定住住宅を建設する場合は、地域バランスや建設場所の状況、入居者のニーズなどを総合的に判断をする中で建設場所を決定したい。



やなしおニュータウン予定地

## 交流センターの機能強化を問う

連合自治会など連携を強化



景山良材 議員

### 問

合併以来、交流センターが行政と地域住民の交流、また学習の場として重要な役割を果たしている。本町の高齢化と過疎化の進行は著しく進み、限界集落の拡大が懸念される中で、連合自治会を中心として行政と地域住民が協働して地域づくりを推進することが更に重要と考える。交流センターの機能強化について、次の4点を提言し町長の所見を伺う。

① 地域の協働の町づくりとして、町内13連合自治会の組織強化が重要であり、人材育成と財政基盤の確立が喫緊の課題と考える。蔽

### 答

合併以来、交流センターが行政と地域住民の交流、また学習の場として重要な役割を果たしている。本町の高齢化と過疎化の進行は著しく進み、限界集落の拡大が懸念される中で、連合自治会を中心として行政と地域住民が協働して地域づくりを推進することが更に重要と考える。交流センターの機能強化について、次の4点を提言し町長の所見を伺う。

② 交流センターは、生涯学習など公民館機能優先となっている。課題とされている限界集落対策や防災対策、地域振興策についても、連合自治会が一役を担うこととなった場合、行政との連携を強化すべきと考えるが伺う。

③ 交流センターの所長を、連合自治会事務局所長が兼務し、集落活性化対策として、人口減少や高齢化が深刻な限界集落に助言する集落支援員を導入し、センター所長が兼務してはどうか。

④ 行政と役割分担することで、連合自治会が元気に活動されることは、職員数が削減され、負担が増加する行政とのよりよいパートナーシップを構築すると考える。また、人件費削減の観点から行政職員OBを交流センター所長に嘱託職員として採用してはどうか。

① 連合自治会の機能を高める意味で、地域のリーダーを養成する講座（元気塾）を実施している。財政的な支援として、自治会への運営助成、連絡事務等、嘱託費として960万円交付している。この交付金の扱いは各連合自治会、自治会によって違う。連合自治会へ3万円、廃校を管理する連合自治会へ5万円、連合自治協議会へ5万円交付している。

② 協働の町づくりを進めて行くうえで、連合自治会、公民館、交流センターの役割は、大変重要と考えている。

総務課が担当している、限界集落対策、防犯、防災対策や、企画が担当してい



都賀行公民館

る、新エネルギー対策、銀山街道の活用や職員の地域担当制等の地域振興策をはじめ、各課の施策は、情報を共有し連携をし実施することが重要である。そして連合自治会、公民館、交流センター、関係機関と協働して取り組む必要性が重要であり、連合自治会長会議をお願いをし、連携を強化する方向で進めて参りたい。

落話合いの経費等が、特別交付税で措置される。現在、限界集落対策を進めており、この制度を利用することは、大変に有効と考える。

集落支援員の設置については、公民館のない地域、また連合自治会の地域ごとに公民館が設置されていない現状があるが、所長の嘱託化集落支援員との兼務や人数などの調査や関係機関との調整を含め、検討を行きたい。

**問** 近年、首都圏を中心に校庭の芝生化が広がっている。県内でも安来市、出雲市などで芝生化された学校があり、芝生の校庭の効用について報じられている。「転んだ時に擦り傷が全く無くなった」とか「子供達が穏やかにおらかになった」など、癒しの効果があるのではないかとと思う。外でしっかり体を動かすことで以前より遊びと授業の切り替えも出来るようになった。また鳥取県の小学校5年生男女では、土の校庭より芝生の校庭で走ることで、50メートル記録で1秒以上記録の短



簗根正一 議員

「校庭の芝生化」を  
管理体制が出来るなら検討する

**答** 沖野町長 一般的な張り芝の工法は芝植作業、雑

縮につながったということもある。全力で走っていても転倒を怖がらなくなったためだと言われている。

近年地球規模での温暖化防止対策が緊急重要課題となっている。緑化することにより砂塵の飛散防止や屋内外の温度低下にもなる。また文部科学省ではエコスクールの整備と共に屋外教育整備事業により屋外運動場の整備を進めている。こうしたことをふまえ、校庭の芝生化に取組んではいか



芝生の校庭（大社小学校）

持管理作業等を専門業者により行なうことで多額の費用がかかるが、平成15年からNPO法人グリーンスポーツ鳥取による、いわゆる鳥取方式の芝生化が推進され全国的に広がりを見せている。この鳥取方式は、学校、児童、生徒、PTA、地域住民の協力による地域力で最小の経費で行うものである。

校庭の芝生化の全国状況は、公立学校の校庭で300平方メートル以上を芝生化しているのは1492校（野外に運動場のある学校の4・13%）である。県

内では、2件の実例がある。出雲市の大社小学校、平成18年から19年の2ヶ年で校庭7000平方メートルを芝生化された。経費としては、散水ホース、移動式のスプリンクラー、芝刈り機、肥料などで初年度約120万位かかると聞いている。

芝植から維持管理を含め、学校、PTAはもちろん、地域を含め地域支援委員会等の管理体制を確立する必要がある。これらのことをふまえ、今後検討する。

## 転作に「飼料用米」の奨励を

詳細の確定を見て取組みを促す



波多野祐康 議員

### 問

米の過剰傾向は依然として続いており、本町に配分された今年の生産調整面積は、前年より更に厳しい数値であった。このような米余りの状況から国は昨年の後半、地域水田農業活性化緊急対策を打ち出し、新規需要米として「飼料用米」を生産した場合、生産調整面積としてカウントできるような措置し、今年から飼料用米の生産に取組めば、3年間で反当り5万円を助成することを決めた。

飼料用米が新たに生産調整メニューに加わったことで、飼料の自給率向上と遊

休農地の解消の観点から全国的に関心が高まり注目されている。

水稲は作れるが、他の作物には向かない水田も多い。本町においては、生産調整の有望作物として飼料用米の生産を奨励すべきと思うが町長の所見を伺う。合わせて今年の生産調整面積と米の作付け状況について問う。

沖野町長

### 答

昨年度中途より緊急調整として実施された地域水田活性化緊急対策へ本町では1組織と3名の個人が取組まれた。新規需要米については現在、新



点在する遊休農地



聞報道で承知している状況で、詳細や今後の日程については未定である。

事業の内容については、現在の水稲作付け面積の中から不足している飼料用米と米粉を目的として新規に転作を実施するものである。これには生産者と加工業者、販売業者との契約等、事前準備が必要とされている。又反当5万円の助成については、現時点では詳細は明らかにされていないため内容がはっきりすれば生産調整推進委員会で説明し取組みを促したい。

又20年度の生産調整の実績は、転作面積212haで対前年8ha増、水稲の作付け率は98%で管内の基準99%より1%下回った。面積にすると3haに相当する。今後はJAと連携し、作付け率100%に向けた対策を検討する必要がある。

## 梁漁の紹介

都賀大橋から上流をながめると、江の川左岸（天瀬）に毎年8月中旬から11月末まで伝統漁法の「梁」が仕掛けられており、江の川の風物詩となっています。

この梁漁は、この地において古くから操業され

今日まで脈々と受け継がれている伝統漁法である。

尚この漁法は江の川ではこの地に1ヶ所しか設置が許可されていない貴重な漁法といえます。梁組合においては伝統漁法の保存や継承はもとより、子供達を対象として梁漁の講習等も

行っておられ生涯学習としても貴重な場を提供しておられます。

雨天で増水時には一日300kg〜400kgの鮎が落ちることもあるそうです。



# 追跡

## どうなったの？ あの質問…

本会議で行った一般質問で改善や検討を求めています。  
指摘した事項に、町当局がどう取り組んでいるのかを追跡調査しました。



◀ 共同作業所 (昭和49年度)



農機具保管施設 (昭和51年度) ▼

**問...** 同和対策事業で建設された建物の  
その後の処理状況は

**答...** 年度内を目標に順次払い下げを

1. 農林業地域改善対策事業 26件 90,309千円  
2. 県単農山漁村同和対策事業 25件 82,386千円  
の事業費をかけて建設されたものです。

- 農機具保管施設 ... 12件の内3件は処理済
- 共同作業所 ..... 16件の内5件は処理済
- 椎茸乾燥施設 ..... 4件の内2件は処理済
- 漁船管理施設 ..... 11件の内5件は処理済
- その他施設 ..... 6件の内2件は処理済

20年9月末現在で払い下げ済件数5件、賃貸契約済件数12件で約35%の  
処理率ですが、今後引き続き処理に努力します。

# 美郷町へIターンして

## 寺谷団地で頑張る畜産農家

寺谷地区 西牧明彦・和江

住  
民  
の  
声



**Q** 美郷町（旧邑智町）へIターンしたのはいつですか。  
**A** 奈良県香芝市から大学卒業後、大田市三瓶町の

和牛経営農家で1年間修業し、平成10年4月に寺谷団地へ入植、7頭の黒毛和種繁殖でスタートしました。入植して2年後に結婚しました。

**Q** 現在の経営規模は。

**A** 農地面積5ヘクタール、牛舎2棟、和牛は53頭、内育成牛6頭、子牛が常時30頭強いる。子牛の出荷は月平均3〜4頭です。

**Q** 子牛の出荷はどこへ、又親牛の購入は。

**A** 子牛は宍道市場へ出荷している。親牛は自家保留が基本であるが、市場で購入することもある。

**Q** 畜産経営で苦労していること、困っていることは。

**A** 入植当時は牛を増頭すること、畑に石が多くなり、畑に大変苦労しました。又、BSEが発生した平成14年は子牛の暴落で経営が大変でした。平成19年から始まった飼料価格の値上がり、燃料価格の値上が

り、特に平成20年から急に値上がりし、経営を圧迫している。



**Q** 今後も続けられると思いますが、将来の夢をお聞かせ下さい。

**A** 頭数は現状維持で、子牛価格を全国平均に持つて行くこと、この目標を達成する為に親牛の入替えが必要である。

全国的に、畜産農家が減る中で特に美郷に於いては激減している。夫婦で頑張っているので支援策等を要望いたします。

### 編集後記

毒入りギョーザの問題がやっとおさまったかと思っていたら、今度は、米、ミルク、さらにお菓子にまで、汚染された品物が出回っていたことが発覚した。人間どんな境地でも、食べ物さえあれば生きられる、しかしその食べ物安全でなければこれは問題である。9月8日、開発センター内に事務所のあるNPO法人島根県有機農業協会が、有機JAS認証機関に認定された。有機農業とは、化学合成による肥料・農薬を使用せず遺伝子組換え技術を利用しない農業生産方法です。町内にもこのような方法で生産されてこられた方はおられました。認証を受けるには兵庫県まで申請しなければならず、さらに検査員の旅費等がかさむため、個人で認証を受けて生産された方はおられません。今後は同協会の認証を受け、有機JASマークを貼った商品が生産出来れば、農業の振興になるのではないのでしょうか。大都市のスーパー、百貨店では、有機JASマークのある、有機食品コーナーが設けられています。



島根有機農業協会

(佐竹記)